

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 9月 1日

【評価実施概要】

事業所番号	"0175000926"		
法人名	株式会社 ナショナルスタッフセンター		
事業所名	グループホーム 松風		
所在地	〒090-0833 北見市とん田東町450番地の7 (電 話) 0157-26-1177		
評価機関名	(有) NAVIRE		
所在地	北見市本町5丁目2-38		
訪問調査日	平成20年8月22日		

【情報提供票より】(20年7月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18 年 3 月 21 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 14人, 非常勤 2人, 常勤換算	7, 4 人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄筋造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	300 円	昼食 450 円
	夕食	500 円	おやつ 50 円
	または1日当たり		1,300 円

(4) 利用者の概要(7 月 3 日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	11 名
要介護1	5 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	6 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82, 64 歳	最低	63 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北見中央病院 ・ 北見赤十字病院 ・ 藤澤歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

北見市西部地区の市街地に位置するホームで、同棟には高齢者共同住宅があり、同ホームは2階建て2ユニットになっています。ホームの周りは花壇になっており、前庭の畑には季節の野菜が植えられ、利用者の楽しみ、食事の彩りとなっています。理念に”四季のある自由な生活、快適にやさしい介護、おいしい食事”を掲げ、施設長、管理者、職員は常に話し合い、理念に添ったケアを目差し取り組まれて、ゆったりとおだやかな雰囲気を感じられます。総合病院が隣接し、協力医療機関となっていて利用者、家族の安心感にも繋がっています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>町内会組織が無い地域ですが、隣の高齢者共同住宅と焼肉パーティーやカラオケ等で交流に努めています。職員研修については、施設長、管理者は重要性を認識しており、職員への情報提供に努め、研修に参加した職員は報告書を提出し周知に努めスキルアップに繋がっています。同業者との交流については、グループホーム網走ブロックに参加し、その中で交流に努めています。災害対策に関しては、年2回の非難訓練を行い、夜間を想定した訓練も実施されています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>施設長、管理者、職員は自己評価をケア向上の大切な機会と捉え全員で自己評価を行い、施設長、管理者がまとめ作成しています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営会議の準備や地域の方への声かけは行っています。家族、地域包括センター等に声をかけて本年度中の開催を目差しています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>3ヶ月に一度、松風だよりを発行し利用者の様子を伝えると共に意見や不安の聞き取りや生活記録の公開等を伝え、開かれたホームとして取り組んでいます。職員は、家族の訪問時には積極的に声を掛け、何でも言って貰えるような関係作りを心掛けています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会組織の無い地域という特性がありますが、同棟の高齢者共同住宅の住民と畑作り、カラオケ、焼肉パーティー等で交流がされています。地域の専門学校の体験学習の受け入れもされています。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が、その人らしく生活出来る様に独自の理念を掲げ、玄関、居間に掲示し周知されています。食事も大切なケアの一つと位置づけ理念の中に掲げられています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設長、管理者、職員は、ミーティング時に、理念に基づいたケアを心掛ける様話し合い意志の共有がされています。理念に添ったケアの為には、職員自身の体調管理にも心掛け、家庭的なケアを実践しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	同棟の高齢者共同住宅の住民と、畑仕事や、焼肉パーティー、カラオケ等で交流がされています。地域の専門学校の体験学習も受け入れています。	○	社会資源を活かし隣の総合病院や近所の商店等に声を掛ける等工夫し、幅広く地域と交流する事を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ全員で自己評価に取り組み、全職員の意見を反映し施設長、管理者がまとめ日々のケアサービスを振り返りながら質の向上に繋げる様取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会組織が無い地域であることと、地域包括センターとの日程調整で、昨年の外部評価より一年間は会議開催には至っておりませんが、本年度中の開催を目差しています。	○	運営推進会議を開催し、地域の方々のホームの理解へと繋げ、日々のケアに活用されることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政機関には、その都度出向き、相談や、情報収集に努め、日々のサービス向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に一度、松風だよりを発行し日々の様子を伝えていきます。家族の訪問時や家族との行事の際には、利用者の状態や暮らしの様子を報告し、緊急時にはその都度電話で報告がされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱が玄関に設置されています。家族訪問時には職員の方から積極的に声を掛け、暮らしの様子を報告すると共に、意見、要望等を気軽に話して貰える様な雰囲気作りに努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動に際しては、引継ぎを充分に行なうように心掛け(2～3週間)ダメージを防ぐ配慮をしています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長、管理者は、研修の重要性を認識し職員への情報提供に努め、交通費、日当の面でも配慮がされています。研修に参加した職員は報告書を作成し、全員で周知しスキルアップに繋げています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム網走ブロックに参加し、その中で行なわれる研修会に参加し同業者と交流する機会をもっています。地域の他のケアマネージャーとの学習会も行なっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に自宅を訪問し、利用者の状況把握に努めています。又、事前に見学をして貰い、不安を訴える利用者には職員が付き添い話を聞くようにし安心してサービスが受けられる様に配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者本人と会話をする中で、共に学び、共に喜び、不安を分かち合い支えあって過ごす関係を築いています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、利用者や家族から話を聞く中で利用者の思いの把握に努め、その人らしい暮らしを実現出来る様に支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一回のカンファレンスの時間を充分に取り、家族とも話し合われた中で利用者本位の介護計画を作成しています。施設長、管理者、職員は、お互いに何でも話し合える関係作りにも努めています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的、又、日々の申し送りやカンファレンス、個人記録を基に見直しを行なっています。利用者の状況の変化に応じてその都度検討し見直しがされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	24時間看護師に連絡が取れる体制を整えています。家族が受診対応出来ない場合は、ホームで対応し、本人や家族の状況や希望に応じて柔軟に支援をしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれのかかりつけ医と連携をとり、通院等の支援がされています。月一回協力歯科医の往診も行なわれています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	安心してサービスが受けられる様に、日常の健康管理や緊急時の対応について、家族、医療関係者、職員と連携を取り、情報を共有し話し合いがされています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりに配慮した言葉掛け等、誇りやプライバシーの尊重に心掛けています。記録に関しては、他の方の名前はイニシャルで記入しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、日々を穏やかに暮らせるよう支援しています。時には1階と2階の利用者の交流や、お盆、お彼岸等には僧侶がお参りに来ることもあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	運営者、施設長、管理者、職員は食事も大切なケアの一つと考え、利用者の好みも反映しながら、栄養士が献立を作成しています。月一回の誕生会には、寿司職人の訪問や、出前を取ることもあり、利用者の楽しみとなっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望や、体調確認により本人に合わせた支援をしています。希望があれば、シャワー浴も行なっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々の力量に合わせ、茶碗洗いや配膳、畑の草取りや収穫等を職員と一緒にこなしています。希望により、ことわざカルタやトランプ、ビデオ鑑賞を楽しむ事もあります。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	身体の負担に留意しながら、おやつやお茶の買い物に職員と出掛けたり、天気の良い日には外でお茶会を行なう等支援しています。お花見や菊祭り、敬老会にも出掛けています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、鍵をかけないケアを実践しています。利用者の安全確保についてはセンサーを利用し対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の非難訓練を消防署の協力を得て実施しています。夜間帯を想定した訓練も行なわれています。	○	近隣の総合病院との相互関係を築いたり、地域の商店やコンビニエンスストア、隣の町内会等と日頃から接し協力し合える関係作りに努めることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	専任の栄養士が栄養バランスを考えた献立を作成しており、利用者、家族の安心感に繋がっています。個々の食事量、水分量の記録もされており、水分量については声掛けし水分確保に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には、利用者と共に作成した季節の飾りつけがされて、家庭的な雰囲気が感じられます。各ユニット毎に2ヶ所あるトイレは広く車椅子対応になっています。トイレの中に手洗いが設置され、衛生面の配慮がされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	慣れ親しんだ家具や、椅子、誕生会の写真、仏壇等が配置され、本人の希望を聞きながら模様替えも行なっています。		